メンバー: L谷内、岩田(記録)

長野県内で最も遠いと言っていいだろう集落、秋山郷。そこから登る鳥甲山。 車での移動が大変で、コースも急登、急下降+ハイペースでとても疲れました。 暑い秋晴れの三連休。たぶんこの時期としては混雑の鳥甲山。車の数からす ると8パーティほど入っている模様。予想外に人が多かった。 【コースタイム】 06:45 ムジナ平登山口 08:50 白嵓の頭 09:45-10:00 鳥甲山 10:30 赤嵓の頭 12:00 屋敷登山口

登山口と下山口が6km ほど離れているので、屋敷登山口に自転車をデポレ

ムジナ平登山口から登りました。登山道は太いブナ林の中の急坂を進みます。1 時間ほど登ると鎖場が現れた。(写真 1)鳥甲山までの登りは岩場やナイフリッジが続くとあったので、まずはお出でなすったという感じ。傾斜は急だが足場はしっかりしており、鎖もあって特に問題はない。さらに進んで、白嵓の頭でその後も出てくるであろう難所対応としてヘルメットを装着する。しかし、何事もなく山頂へ到着(写真 2)。聞いていたほど難所はなかった。山頂で小休止し展望を楽しむ。東は苗場山、南には岩菅山、西には遠く北アルプスを一望。北には海が見えるのだろうなと見ると、そこは雲があり、海だかどうだかわかりませんでした。のんびりしていると 3 パーティが登ってきました。狭い山頂の予想外の混雑にびっくりして、さっさと下山を開始しました。赤嵓の頭付近から鳥甲山を望むと、土肌が赤い。(写真 3)これが赤嵓の由来か。鳥甲山は木や笹が多く茂り、あまり高山植物が少ないのかと思いましたが、登山道周辺には多くの種類の花が咲いていました。(写真 4)下りもさっさと歩いて屋敷登山口へ。デポしておいた自転車で登山口まで戻ります。しかし、自転車は 1 台。車の運転をする人が自転車で戻らなければならないということで、谷内さんが一人でムジナ平まで戻りました。(写真 5)谷内さん、長距離の車の運転、自転車での車回収とお疲れさまでした。ありがとうございました。

写真1 鎖場の登り



写真 2 山頂にて証拠写真



写真3 赤嵓の頭から鳥甲山を望む



写真 4 ウメバチソウとマツムシソウ



写真 5 自転車で車を取りに 6km のサイクリングへ

